

子どもの表現活動の効果的指導方法に関する研究

— 身体表現・音楽表現・造形表現を考慮した総合的表現指導の観点から —

Effective Teaching Methods for Children's Expressive Activities — Integrated Expression Instructions Considering Physical, Musical and Artistic Expression —

松下 茉莉香, 中村 礼香, 小松 恵理子

Marika Matsushita, Ayaka Nakamura, Eriko Komatsu

鹿児島女子短期大学

身体表現、音楽表現、造形表現を総合的に取り入れた模擬保育の可能性を探るため、身体表現の授業で学生が作成した「保育・言葉掛けプランニングシート」の中から、特に平成29年度告示の新教育要領において指導されるべき内容とされている3分野「自然」「生活」「文化」をテーマにした3案を基に、各表現分野の視点から考察を加えながら総合的な表現活動についての検討を行った。その結果として、総合的な表現を取り入れることで領域「表現」の目標やねらい、内容を網羅でき更には他領域の内容との関連性も生まれることが明らかになった。

キーワード：総合的な表現、模擬保育、領域「表現」、保育内容表現の指導法

1. はじめに

平成元年の幼稚園教育要領の改訂の際、それまでの「音楽リズム」と「絵画製作」は発達の視点から捉えなおされ、領域「表現」と改められた。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」によると、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことが領域「表現」の大きな目標である。この目標や各ねらい、内容を授業の中で学生達が理解した上で、それを実践に移せるようにするため、模擬保育を行っている。そこで身体表現、音楽表現、造形表現を総合的に取り入れた模擬保育を行うため、学生達が考案した模擬保育の内容にそれぞれの教員の視点から分析を行い、総合的な表現活動について検討を行うことの必要性を感じた。

本研究では、小松の身体表現の授業の中で行っている模擬保育の活動を元に表現活動について検討する。学生は模擬保育を行う前に、活動内容や子どもへの具体的な言葉掛けの内容を記載した、「保育・言葉掛けプランニングシート」を作成している。このシートは、より実践的な指導力をつけるために小松が開発した書式である。

これまでの研究や身体表現指導においての重要ファクターとして指導者自身の題材に対する『イメージの乏しさ』や『言葉掛け』が常に挙げられてきた。特にこの『言葉掛け』の有効性と困難さは常に様々な研究において指摘されている。養成校としては、この『豊かなイメージ』に裏打ちされた『言葉掛け』が効果的にできるようになるた

めに、学生にどのような指導が必要なのか等の問題意識を基盤に、現場指導者として効果的な指導の実践できる解決策として、事前に『題材』に対する保育者の『運動のイメージ』を明確にし、その上で多彩な運動表現を引き出すことが可能と思われる項目を設けた指導案書式（保育・言葉掛けプランニングシート）を作成した。そのことにより、指導者の豊かなイメージに裏打ちされた身体表現への『効果的な言葉掛け』ができ、子どもの豊かな動きの引き出しや発展のできる指導実践力を高めることが容易になると考えた。

この指導案書式を『身体表現 / 保育・言葉掛けプランニングシート』と命名し、通常の保育案書式の項目〈時刻・環境〉に身体表現に特化した項目〈教材（絵本等）・音響・照明〉〈言葉掛けプラン（主たる保育の流れ）〉〈指示・説明〉〈日常・非日常〉〈抑揚〉〈運動分析（事前）〉〈動きの探求（口リズム・動きの変化（5要素使用）・ストップモーション等）〉〈発想の転換〉等を挿入したシートを作成した。それを使用した身体表現の模擬授業での有効性は2013年の紀要第48号において報告している。（表1-1・1-2）

これらの身体表現活動の実践を土台に、何年にも渡って学生達が作成したプランニングシートの中から、平成29年度告示の新教育要領において指導されるべき内容とされている3分野「自然」「生活」「文化」を活動のテーマにしていたものをピックアップし、その中で、少しでも音を用いた活動や製作活動を入れていたものを選出し、そのプランニングシートに音楽表現活動や造形表現活動を融合させる

とどのような総合的な表現活動に発展させることができるか明らかにし、子どもの表現活動のより実践的で効果的・総合的な指導方法を明らかにすることを目的とする。

2. 「自然」をテーマとした表現活動

2-1 身体表現活動の授業における内容

プランニングシートの詳細は表2で提示している。なお、今後提示する表2、表3、表4全てには本論において音楽表現や造形表現の視点から検討したことも反映している。

大まかな活動内容は次の通りである。

- | |
|--------------------------|
| ① 梅雨に関する話による導入 |
| ② かえるの生態に関する子どもとの言葉のやりとり |
| ③ かえるのお面製作 |
| ④ かえるの身体表現 |
| ⑤ 活動の振り返り |

豊かな感性は、自然などの身近な環境と十分かかわる中で養われるとされている（現行：教育要領：内容の取り扱い（1））。このプランでは、梅雨の時期を取り上げ、身近な環境や自然に目を向ける言葉掛けをしている。「雨の日が嫌な日ではないこと。音を訊くのが好き。音の中で、かわいい生き物を発見したこと。」などを表情豊かに話すように企画されている。また、子どもの応答を待つ姿勢を見せ、動きや形に気づいたりすることや感動する事を伝え合う事を促している。ホワイトボードにかえるの画像（絵）を貼り視覚的にイメージを深めようとしているだけでなく、「かえるさんいろんな動きをするね!!」と後刻の身体表現へ伏線を準備している。

③でお面製作をすることにより、動きのイメージを助長する。かえるのお面を着けることにより、模倣変身を容易にすることができる。④の身体表現に入る場合、日常から非日常への切り替えの「変身」キーワードを挿入し、身体表現への気持ちを集中させている。その後、跳ぶ・泳ぐ・跳びながら渡る・泣く等の動きの表現への働き掛けを行っている。また「波が来た」等、出現した動きをさらに変化・発展させる言葉掛けも準備されていた。

最後に、身体表現することによりかえるの歌をイメージを持って歌うことができると考えられる。

2-2 音楽表現の視点からの分析

「幼稚園教育要領」の領域「表現」における内容に「(1) 生活の中で音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ」とある。また、平成29年度告示の新教育要領には「3 内容の取扱い」の(1)に「風の音や雨の音、身近にある草や花の形や色など自然の中にある音、形、色などに気付くようにすること」という文言

が追加された。このことから自然に対する活動を取り入れることが重要視されていることが分かる。

この活動の中で、①の導入において「雨」を保育者が取り上げたときに、保育者がオノマトペを用いて雨の表現をすることで子どもはイメージを膨らませることができるが、更に子どもにもオノマトペを用いた表現活動を行わせることで、雨の音に意識を向けさせ、どのような音がするのかをイメージして表現するという活動に発展させることができる。雨の降り方によっても音が異なるため、様々な降り方を想像し、その音を自分なりに言葉で表現する。この活動は、領域「表現」の内容「(8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう」や、領域「言葉」の内容「(8) いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする」という活動にも繋げることができる。そしてこれらの音を、ペットボトルにビーズや小豆などを入れて傾け「ザーザー」という音を出すことで表現したり、新聞紙をぐちゃぐちゃにした上で跳びはねて土砂降りの様子を表したり、金属のボウルに水を張ってそこに水を垂らして「ポチャンポチャン」という音を表したりと、雨の音を身近な素材を使って表現する活動にも発展させることができる。これは領域「表現」の内容「(5) いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ」と繋げることができる。

また、④の活動を行う際、かえるの動きをしながら「かえるの合唱」歌う場面がある。この活動を行う際に例えば、低音でゆっくりと弾くと大きなトノサマガエルを想像することができ、子どもの達の動きも自然と大きなジャンプになる（譜例1）、一方高音で軽くピアノを弾くことで、小さな赤ちゃんかえるを想像でき、小さなジャンプになる（譜例2）、というように音を聞いて感じたままに表現するという活動に発展させることができる。これは領域「表現」のねらい「(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」や、領域「健康」の内容「(2) いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。」といったことに繋がると考えられる。

譜例1 大きなかえる



2-3 造形表現の視点からの分析

まず、①の導入にある梅雨の話を行う際に、身近な素材で製作した楽器で、雨音を表現する事が加えられる。ポツポツという弱い雨については、紙皿、割り箸、ドングリ等で製作出来るでんでん太鼓、ザーっという強い雨については家庭用の水切りザルに、小豆や大豆などを撒いて作るオーシャンドラムや、ラップ芯に爪楊枝を挿し小豆などを入れ、雨の効果音が楽しめるレインスティックなどの楽器製作が加えられる。これにより、オノマトペによる言語表現活動に加え、実際に子どもと製作した楽器を活動に用いる事で、楽器の持つ色形の面白さに気付くと共に、作った楽器を鳴らす事で、音色の美しさをより強く体感しながら音への関心を高めることができると考える。このような、子どもの具体的な体験を通して、雨音や梅雨といった身近な自然とを結びつける事が大切であると考え、これらの活動を加える事で、領域「表現」の「(6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を作ったりする楽しさを味わう。」事にも繋がる。

次に、④の活動を、造形表現の要素を加えることができるのか考察したい。子どもは、かえるに変身しながら跳んだり、水中を泳いだり、泣いたり、歌ったりと様々な身体表現を通して、身近な生き物の動きや鳴き声などのイメージを深めてきた。そこで感じたことや考えたことを表現の材料として、事後活動としてかえるの楽器や動くおもちゃ製作に発展させることができないかと考える。この造形活動を行う事で、身体表現活動の振り返りや、楽しかった事を周りと共有する事もでき、そこで得た新鮮な感動がより豊かな造形表現にも繋がると期待できる。この造形表現を加える事により、領域「表現」の内容「(4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。」との関連も生まれる。

これに関して、具体的な活動例を3つ示していく。1つ目としてかえるの鳴き声を模した楽器製作を提案する。プラスチック製のコップの底面に穴をあけ、折り曲げ可能なストローを挿して製作するものである。ストローの蛇腹をコップの穴で擦る事で、ギロの原理に近いかえるの鳴き声そっくりの楽器ができる。

2つ目は、かえるの飛び跳ねる姿をイメージさせる、動くおもちゃ製作である。紙コップの呑み口に十字の輪ゴムを組んだものを、同サイズの紙コップに底面が上になるよう重ねて跳ばすというものである。

3つ目もかえるの動きを基にした動くおもちゃで、牛乳パックの側面を平面に切り取って2つ折りにしたものに、4つの切込みを入れて輪ゴムを交差し製作するものである。これらは、身体表現を通して感じたかえるの動きや鳴き声に焦点を当てた基本的な造形表現であり、子どもそれ

ぞれが身体表現で獲得した思いや考え、イメージによって更に発展していく活動であると言える。

3. 「生活」をテーマとした表現活動

3-1 身体表現活動の授業における内容

プランニングシートの詳細は表3で提示している。大まかな活動内容は次の通りである。

- | |
|--|
| ① 6月をイメージしたクイズによる導入 |
| ② 時計のペープサートを用いた時計の話 |
| ③ 時計の身体表現 |
| ④ 時間を戻したり進めたりすることによる、赤ちゃんや恐竜、おばあちゃんの身体表現 |
| ⑤ 活動の振り返り |

①と②において、かたつむりや傘・時計などのクイズやペープサート等を用い、季節や生活の中からイメージを引き出す工夫がなされている。

③の身体表現活動では、日常から非日常への切り替えの「変身」キーワードを挿入し、身体表現への円滑な移行を促している。また、時計の音のオノマトペを用い、時計の表現や針の表現へ導いている。但し、時計の音であるが故にタクト的な繰り返しとなっている。始めの段階では、単純な繰り返しであるタクト的な表現の段階を経る事も必要である。しかし、そこに留まらず、次の場面では「カチコチカチコチカチッ！」等のリズムパターンを口伴奏で形成している。次に「魔法をかける」という設定をおき、ゆっくりとしたスローな身体表現を引き出ししている。さらにタイムマシンとして発展させ、恐竜時代や祖父母の表現へと変化させている。またその際も「ピューン！ピューン！ピッ！」等のリズムパターンによる言葉掛けの支援をしている。これらのリズムパターンはそのように動きなさいということではなく、表現者自身の個性的で、身体表現が多く引き出ししている。言葉掛けのサポートの一つである。

3-2 音楽表現の視点からの分析

この活動では時計をテーマにしている。6月には時の記念日があるため、歌唱活動を行う際、幼児曲として「時計のうた」や「大きな古時計」が歌われることが多い。「時計のうた」は「コチコチカッチン」という時計の音や、長針短針を「大人の針」や「子どもの針」と例えて歌われているため、時計のイメージがしやすい曲である。そこで②の活動を行う前に「時計のうた」を歌う活動を取り入れることを提案したい。これは領域「表現」の内容「(6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」に繋げることができる。

そして、③の活動において時計の針を動かす様子を表現するときは、ウッドブロックという楽器を使って、早く叩

いたり、遅く叩いたりしてテンポを示し、それに合わせて時計の動きを表現するという活動に発展させることができる。

また、時計の針を進める時は譜例3の様に弾いたり、時計をゆっくり巻き戻すときは譜例4の様に弾いたりすることで、ぐるぐる回す様子を表すことができる。

譜例3 時計の針を進める音



譜例4 時計の針をゆっくり戻す音



3-3 造形表現の視点からの分析

①の導入について、造形表現を取り入れた工夫が2点考えられる。まずは、「私は誰でしょうゲーム」のかたつむり、傘、時計の問いについて、シルエットクイズを取り入れる事で、子どもが言葉をヒントに思考できることに加え、形に着目しながら遊びを楽しむことができると考える。その教具の一例として、仕掛けのあるボードの準備が必要である。このボードは、対象の輪郭をくり抜いた1枚の画用紙に、モチーフの絵（正解）を描いた2枚目を、下部一辺を残して接着し、製作するものである。実際に子どもとゲームを行う際は、この2枚の間に色画用紙を挿し、特徴的な部分を指差したり、色画用紙を少しづつ引き抜く等のヒントを与え、答えを導けるような援助が考えられる。この活動を加えることにより、領域「表現」の内容「(1) 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。」こととの関連が出てくると考える。

2点目は、同じく①導入場面の、針の動きを説明する際の工夫である。学生の言葉掛けプランでは、ペープサートを用いて一つの教具を子どもに示している。子どもにとって、実際に針を動かす体験ができた方が、より対象へのイメージを膨らませることに効果的であると考え、短時間で子どもたちと製作できるものを2つ提案したい。

まず1つ目は、時計の本体部を模した円形の画用紙の中心に、割ピンや2つ折りにしたモールを挿し、その先に長針短針のパーツを取り付けるといったものである。これに関しては、平面の他に紙コップの底面を使う事で、腕時計として身に付けながら身体表現に繋げる事もできる。

2つ目は、く の字に切込みを入れた紙皿2枚を用意し、1枚に短針、もう1枚に長針を描き、2枚をかみ合わせて動かすペープサートの製作である。両方とも針の動きを自由に操作しながら、時計について触れる事ができる。これも先程の活動と同様、領域「表現」の内容「(1) 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。」ことに繋がると考える。

最後に、③の時計になり身体表現を行う活動場面での工夫についてである。この身体表現活動で鍵になるのが、時計に変身する事と、腕や手全体で表す長針、短針の動きであると考えられる為、より豊かな身体表現活動となるよう、衣装製作を加えてはどうかと考える。基本の服は、教師が事前準備しておき、子どもの活動としては、腕から手首にかけて袖の長さを切り、左右の針の長さを整え、子どもが針の形に切ったパーツを貼る等の装飾を行うものである。また、身に付けて伸び伸び体を動かせるよう、軽く身に付けやすいポリ袋や不織布、フェルト等を用いるようにする。この活動を取り入れることで、領域「表現」の内容「(7) かいたり、つくったりするのを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。」との関連性が出てくると考える。

4. 「文化」をテーマとした表現活動

4-1 身体表現活動の授業における内容

プランニングシートの詳細は表4で提示している。大まかな活動内容は次の通りである。

- | |
|------------------------|
| ① 夏祭りの話による導入 |
| ② 金魚の折り紙活動 |
| ③ 金魚の身体表現 |
| ④ 花火の効果音を聞いた上でのオノマトペ表現 |
| ⑤ 線香花火や打ち上げ花火の身体表現 |
| ⑥ 活動の振り返り |

この活動は領域「表現」の内容「(8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。」に繋がる。

①の導入部分で、明るく話しはじめることで、幼児の緊張感をとることや身近な話題から表現活動に入ろうとしている。

身体表現の際に重要となる動きのイメージを掘り起こす手立ての一つとして「本を見せる」活動を取り入れている。また、このグループは事前に裏面のシートによって指導者自身の「祭りに関する動きのイメージの掘り起こし」を行っている。

②の部分では、金魚の表現に折り紙を使用している。折り紙の製作過程を経る事や折り紙を動かしながら「金魚はどんな風に泳ぐ？」などの問い掛けにより、動きのイメー

ジを助長している。

③の身体表現に入の場合、日常から非日常への転換をはかるために「へ～んしん」等の言葉掛けが有効である。その後のオノマトペによる口リズムが記入されている。先生たちが追いかける場面では、「スーッと間をすりぬけてね」という言葉掛けがあり、「追うー逃げる」というワンパターンの鬼ごっこに終わらない工夫がされている。さらに途中で「スローモーション」等を設けると金魚の動きがより鮮明に表現されているところを捉えることができる。

④と⑤の花火では、まず花火の効果音を聞かせる事から始めており、聴覚を通じて動きのイメージを広げることには役立っている。音に集中させ、豊かな動きの表現と通じている。視覚だけでなく五感を通した表現活動に繋がっている。花火のオノマトペも「パチ・パチ」など同じ音を繰り返すタクト的口伴奏でなく「パチ・パチ」シュシュパッ!」など「リズムパターン」を形成している。さらには「ぐるぐるどかーん」の口リズムを一度でなく、繰り返して行い飛び上がる方向や空間を変える働きかけの豊かな表現へむけての働きかけがより豊かな表現へ導く言葉掛けとして有効である。

ここを表現する場合に、以下に示すような楽譜を用いて状況を表し、言葉だけではなく音を聴くことで、子どもたちに泳ぎ方を判断させるという遊びに発展させることができる(譜例5, 6, 7)。なお、ピアノ初心者の学生でも弾きやすいように、黒鍵のみを用いた楽譜となっている。この活動は領域「表現」の内容「(8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。」に該当すると考えられる。

また、④の活動を更に発展させると、花火の音を足や手、口を使って音を表現するボディパーカッションやボイスパーカッションの活動を行うことができる。例えば「ドーン」という音は足を使って全員で一斉に鳴らしたり、「パチパチ」という音は手で体のあちこちを叩いたり、「ヒュールルル」という音は口で音程を調整しながら表現したりと自分の身体でどのような音を出すことができるのかを試し、工夫する活動ができる。この活動は領域「表現」の内容「(4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする」に該当すると考えられる。

4-2 音楽表現の視点からの分析

③の活動の中において、どのような動きかイメージし、ゆっくり泳いだり、早く泳いだりといった泳ぎ方を表現さ

4-3 造形表現の視点からの分析

この活動では、①の夏祭りについての説明場面で、より子どもが具体的な様子を思い浮かべられるように、子どもの意見を聞きながらやり取りできるペープサート等を用い

譜例5 金魚が泳ぐ様子



譜例6 金魚がゆっくり泳ぐ様子



譜例7 金魚が速く泳ぐ様子



ではどうかと考える。具体的には、横長の画用紙を蛇腹折りしたものに、2本の棒を取り付けて基本形を作り、1面のみ屋台の絵を描いたもの、それ以外の各面に子どもの反応に応じて絵のパーツを取り付けられるよう、マジックテープを施し準備しておく。実際に導入を行う際は、1例として屋台の絵を紹介した後、子どもの発言を受けて絵を貼り付けていき、一通り意見が出尽くしたら蛇腹を平面に戻し、絵を全て見せて夜店のイメージをもたせる工夫が出来る。また、ここでは教師と子ども間で思いついたものを話す活動が伴う為、領域「言葉」の内容「(1) 先生や友達言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりする。」にも繋がると考える。

また、③の金魚の動きを再現する活動前に、事前に水を張った角型2Lのペットボトルを準備し、ビー玉と糸で重りを付けた発泡トレー製の魚に、スズランテープ等動きの出る素材を貼り付け、水に浮かべるといふ水槽の製作をグループ毎に行う事を提案したい。完成後は、容器を傾けながら遊ぶ事により魚が揺らぎ、水の中で泳ぐ金魚の様子がイメージ出来るのではないかと考える。これは、領域「表現」の内容「(1) 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。」や、領域「環境」の内容「(4) 身近な事象に興味をもち、取り入れて遊ぶ」にも繋がると考える。更には、グループ活動が取り入れられている為、領域「人間関係」の内容「(8) 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりなどする。」ことにも関連性が生まれると考えられる。

最後に、⑤の花火を主題にした活動では、様々な色のホログラムテープをゴムで括った小道具を製作し、それを指に取り付けて身体表現に繋げる事が考えられる。これにより、花火の打ち上がる様子や、ダイナミックに花が開く所を視覚的にも感じられる。これは、領域「表現」の内容「(7) かいたり、つくったりする事を楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。」に該当すると考える。

5. おわりに

本研究では、身体表現を柱としながら、子どもの活動内容や子どもへの具体的な言葉掛けをまとめた「保育・言葉掛けプランニングシート」を基に、音楽的、造形的な視点を加えながら分析を行い、模擬保育の可能性を探った。(表2, 3, 4)

3つの表現が絡み合う事により、子どもの表現内容も一層拡がり幅が生まれると共に、新幼稚園教育要領で示された領域「表現」の内容、ねらいを網羅出来ることが分かった。つまり、総合的な表現による保育が、領域「表現」の目標とする「感じたことや考えたことを自分なりに表現

することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」という目標の達成に繋がるという事が明らかになった。さらには、領域「表現」のねらいだけでなく、「言葉」や「環境」、「人間関係」といった他領域との関連も見えてきた。


今後、保育内容表現指導法の授業等で、これら総合的な表現活動による模擬保育を、学生自身が立案、実践することで、子どもの中に育つものを具体的に考察させ、さらに実践で役立てられるようなものとしていきたい。

引用・参考文献

- 「幼稚園教育要領」文部科学省、2017
- 「保育所保育指針」厚生労働省、2017
- 「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」内閣府、2017
- 小松恵理子・梶ちか子：「幼児の身体表現の効果的な指導方法に関する研究—保育・言葉掛けプランニングシート作成の観点から—」鹿児島女子短期大学紀要第48号、pp69～79、2013
- 小松恵理子・梶ちか子：「幼児の身体表現の効果的な指導方法に関する研究—保育・言葉掛けプランニングシート作成の観点から—」第60回九州体育・スポーツ学会紀要、2011
- 小松恵理子：「身体表現における「保育・言葉掛けプランニングシート」について」第65回日本保育学会発表論文集、2012

(2017年12月1日 受理)

表1-1 指導案書式を『身体表現／保育・言葉掛けプランニングシート』表面


保育内容（表現Ⅱ） 身体表現／保育・言葉掛けプランニングシート		平成 年 月 日（ ）	児童教育学科 組 番	ホーム氏名（ ）	非日常	抑揚	リズム	動きの変化等	ストップM等	発想の転換
時刻	<p><環境構成></p> <p>音響・照明・教材 保育者/位置・ 保育室/使用方法等</p>	<p><言葉掛けプラン></p> <p>（主な保育の流れ）保育の流れにそって、具体的な言葉掛けを考える。</p>								
9:00	<p><例></p>  <p><準備物></p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞紙 50 枚 ガムテープ（3 本） 音響用 CD3 枚 等 	<p><例></p> <p>◎先生のところに集まり、お話を聞く。（主たる活動）</p> <p>みなさん、おはようございます。今日も元気そうですね。</p>				●				
05		<p>◎新聞紙を使って表現遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・み～んな、新聞紙にへ～んしん 3・2・1 はい!! ・ふわ～ふわ～ふわ～り（3 回目に注意） 			●	●				
10		<p>◎出てきた動きから、イメージを引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わぁ～～シャボン玉みたいだね～。ふわふわ～～パチン!! ・あ～割れちゃったね。（悲しそうに・・・） ・もう一度、膨らまそう。ふ～ふ～ふ～ウウふ～！ きれいなシャボン玉 他にシャボン玉さんどうしてる?? <p>風に乗って行ってみよう。ゆっくり～ふわ～～とね。</p>					●	●		
15							●		●	●

2013/5/13 改訂

表1-2 指導案書式を『身体表現／保育・言葉掛けプランニングシート』裏面

保育内容（表現Ⅱ） 身体表現／保育・言葉掛けプランニングシートの書き方

2013/5/30：裏面改訂

時刻	環境	教材	音響	照明	言葉掛けプラン （主な保育の流れ）	指示 説明	非日常 表現の切掛	抑揚
	保者/位置 保室/ 使用法	絵本等			保育の流れにそって、具体的な言葉掛けを考える。	・断定的にならないように。	・321 それ～！ ・ぐる～と回って～へんし～へん!! ・よういはいかな？それ～！	・表情豊かに ・言葉のリズムにも配慮する
	例 ・CD「こどもの歌」から ＜とんぼのめがね＞等				◎主たる活動(保育の流れ) ・具体的な言葉掛け	・指示は曖昧にならないように的確にする。 ・	現実世界から表現世界へ気持ちを切り替える	・楽しそうに、声を大きくしたり小さくしたりする。
					↑活動の区切りによって線を引く。			

動きの探究／深化			発想の転換
リズム	動きの変化／身体支配	ストップM・スローM	他には??
例) ふわ～ふわ～ふわ～り （3 回目に注意）	<ul style="list-style-type: none"> ・できたポーズや形を、方向や場所のヒントを与える。 ・垂直方向を注意！木立状態（直立）を崩す。足を動かす。 ・力を加える。引っ張る等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなお花にとま～れ！ ・逃げる敵をおつかけるよ～。あれ～～スローモーションになった。待あ～てえ～。 	どうなるの？
<ul style="list-style-type: none"> ・単調にならないように、気を付ける ・題材にふさわしいオノマトペを考え、動きの特徴がでるようにリズムパターンにまとめる。 ・たくさん考えておく。 	<p><運動の5要素></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作／移動・跳躍・回転・ステップ・ジェスチャー・静止等 ・身体／対称・非対称・全身・部分・体表面・関節等 ・空間／高い・低い・中間・方向・経路 ・力性（ダイナミックス）／リズム・速さ・アクセントの位置 ・関係性／人数・向き・リフト等 <p>を用い、動きを変化させるヒントにする。</p>	<p>時々、動きを止める。</p> <p>効果： リズム変化やフレーズ感を出すのに効果的</p> <p>確認： 何に変身したかを問うことにより、お互いの表現を鑑賞しあったり、学びあったりする。</p>	

運動分析(事前に題材から直接、イメージできる運動を挙げる。)			
<p>（例）象：</p> <p><動き></p> <p>鼻を動かす・揺らす・曲げる 耳を動かす・歩く（どっしり） 座る</p>	<p><場面></p> <p>餌を拾う（鼻で） 水をまく・体にかける</p>	<p><空想的場面></p> <p>戦う・飛ぶ・</p>	<p><リズム></p> <p>ノッシ・ノッシ。パオ～</p>

表2 「自然」をテーマとした表現活動

造形表現	言葉掛けプランニングシート	音楽表現
<ul style="list-style-type: none"> ・事前活動で子どもと共に製作した楽器を用いて雨音を表現する。 ・弱い雨（紙皿とドングリを用いたでんでん太鼓） ・強い雨（ザルに小豆で作るオーシャンドラム・ラップ芯と爪楊枝、小豆で作るレインスティック） 	<p>◎先生の所に集まり、お話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2組のお友達、こんにちは！今日も元気そうだね～。 先生も昼ご飯をもりもり食べたからとっても元気だよ～。みんなも食べた？ ・だけど、なんだか最近お天気があまりよくないね、なんでかな～？ (※子どもの応答に答える) ・そうだよ～梅雨だもんね。お外ではあーっと遊びたいのに、雨じゃお外で遊べないもんね～。 ・だけど先生ね、雨の日嫌いじゃないよ～。だって、雨のポツポツっていう音とか、ザーッという音とか聞くの好きだから！ ・それでね～、この間、お外に出て雨の音聞いてみたの。そしたら、先生と一緒にいるかわいい生き物と一緒に雨の音をね、聞いてたの！なんだろう？ (※子どもの応答に答える) ・正解！かえるだよ！！かえるさんって、雨の中でも平気でお外で遊んでるよね～。かえるさんってどんな風にお外で遊んでいると思う？ (※子どもの応答に答える) ・うん。まずビヨンビヨンって飛んでるよね！！ (※ホワイトボードに画像を貼る) ・そして、ケロケロって泣くよね！！ (※ホワイトボードに画像を貼る) ・最後はこれ！！泳いでるよね～ (※ホワイトボードに画像を貼る) ・かえるさん色々な動きをするね！！ ・今日は～じゃじゃ～ん！！ (※かえるのお面を出す) ・このかえるさんのお面を皆で作って～かえるさんになりきってみましょう！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の音がどのような音がするか子どもにイメージさせ、子どもがオノマトペで表現する活動を行う。雨の降り方によっても音が変わるので、保育者が降り方を説明しながら誘導する。 ・オノマトペで出した音を新聞紙やペットボトル、空き箱やボウルなど身近な素材を使って再現する。
	<p>◎かえるのお面を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでステキなかえるさんを作ってみよう！！好きなようにかえるさんのお顔を描いてみてください。 	
	<p>◎描く姿を見守り、描き終えたら声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなのかわいいかえるさんを先生に見せてください。みんなすっごくかわいいかえるさんのお面ができたね～！！それじゃあ、そのかわいいかえるさんのお面をつけてかえるさんに変身しよう！！ ・それじゃあみんな～かえるさんにへ～んし～ん！！ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現後、かえるの動きや鳴き声の面白さを基に、様々な楽器や動くおもちゃの製作を行う。 ・飛び跳ねる動きから発想した製作（牛乳パックのパッチンかえる・紙コップロケットかえる等） ・鳴き声を基にした楽器製作（紙コップとストローでゲコゲコがえる等） 	<p>◎かえるの動きを表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、みんなかえるさんのように跳んでみよう！！ ・高く～ビョーン ・小さくビョーン ・遠くに行けるように思いっきりビョーン ・次は泣いてみよう！！ ・泣きながら跳んでみよう！！ ・次は泳いでみよう！！ ・みんなお外に行って散歩しよう！！ <p>ピアノ：さんぽを弾く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あ！！あそこにたくさん水溜まりがある！！みんな泳いで渡っていきう！！ ・みんな跳んだり泳いだりして渡っていきう！！ ・わーっ！大きな波が来たよー！ ・潜てみよう！ ・じゃあ、みんなで跳んだり泳いだりしながら、かえるさんのお歌を歌いながら楽しく帰ろっか！ <p>※ピアノ：かえるの合唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな人間にもーどれっ！ ・みんなどんなことしたー？ ・何が楽しかったー？ ・どこに行ったー？ (※子どもの応答に答える) ・かえるさん見つけたら先生に教えてねー！ ・じゃあ次はおやつ時間だからおトイレに行って手洗いうがいをしてしましう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かえるの合唱」を低い音でゆっくりを弾くことでトノサマガエル、高い音で軽く弾くことで赤ちゃんガエルという違いを出し、ジャンプの仕方や歌い方の違いを表現する。

表3 「生活」をテーマとした表現活動

造形表現	言葉掛けプランニングシート	音楽表現
<p>・導入時、仕掛けのあるボードを用いて形の特徴を示したり、言葉によるヒントから、子どもが季節に因んだ3つの対象をイメージできるように援助する。</p>	<p>◎先生の所に集まり、お話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4組のお友達給食いっぱい食べられたかな？ ・何が一番美味しかった？カレーライス！ ・先生もカレー大好きだから嬉しかったな。とっても美味しかったね。 ・じゃあ、今から先生と私は誰でしょうゲームをしましょう。 <p>◎私は誰でしょうゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたつむり ・かさ ・時計 ・みんなに質問です。6月10日は何の日か分かりますか？ ・ヒントはさっきのゲームの答えに出てきたよ。 ・そうだね、時計の日だね。 <p>(時計のペープサートを見せる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計の長い針はどう動いているかな？早い？長い針よりも遅いね。 ・今から時計に変身して遊びましょう。 ・それでは立ちましょう。 ・両手を挙げてお友達と当たらないように広がろうね。 	<p>・活動に入る前に「時計のうた」をみんなで歌う</p>
<p>・身体表現の活動前に、子どもが時計の針の動きを体感できるように、1人1人身近な素材を用いた動く仕掛け時計を製作する。</p>	<p>◎時計に変身して表現遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がれたかな。じゃあ時計に変身してみよう。 <p>へーんしん。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなどんな時計になったか見てみるね。 ・じゃあ針をゆっくり動かしてみよう。チクタクチクタク ・じゃあ次は針を速く動かしてみよう。チクタクチクタク ・次は給食を食べる12時に針を動かそう。グルグルグルグルカチッ！（足を開く） ・おやつを食べるときはどこだどこだ？ カチコチカチコチカチッ！（足は片足たち） ・寝る時間は何時かな？カチコチカチコチカチッ！ ・〇〇ちゃんは〇時に寝るんだね！ ・次は先生が魔法をかけます！時計の針をゆっくり巻き戻してみよう。 ・巻き戻して！あ！赤ちゃんまで戻っちゃった！ ・赤ちゃんになってみよう！パパーパパー可愛い赤ちゃんが沢山いるね ・次はもっともっともーっと昔に戻ってみよう。大きな時計で戻ってみよう。 ・大きく大きく回してね！グルグルグル〜ピタッ！今度は恐竜まで戻っちゃったよ。 ・みんなで恐竜になろう。ガオー！ドシーン！恐竜さんがいっぱい！かっこいいな〜！ ・最後はおじいちゃん、おばあちゃんまで時計を速く進めよう。ピューン！ピューン！ピッ！ ・あ〜みんながおじいちゃん、おばあちゃんになっちゃった。よばよば。腰が痛いな。 	<p>・ウッドブロックを使い、早く叩いたり、遅く叩いたりする。その音のテンポに合わせて身体表現する。</p> <p>・譜例3の様に、針を進める音をピアノで表現する。</p> <p>・譜例4の様に、針を戻す音をピアノで表現する。</p>
<p>・子どもが時計になりきれよう、事前に教師が基本形を作った衣装の腕部分を切って左右の長さを変えたり、袖にシール式のフェルトで作った針のパーツを取り付ける等して製作する。</p>	<p>◎振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は何に変身した？時計？そうだね。時計になって針を動かしたね。 ・針を巻き戻したり進めたりして何になったかな？ ・赤ちゃん！恐竜！おじいちゃん！おばあちゃん！そうだね。みんなとっても上手でした。 ・また時計になって、 ・次はもっと色々なものに変身しようね！ ・次はおやつの時間です。おやつ何だろうね。 ・汗をしっかりと拭いて、その後何をすればいいかな。 ・トイレに行く！手洗いうがいをする！そうだね！トイレに行って手洗いうがいをして自分の椅子に座って待ちましょう。 	

表4 「文化」をテーマとした表現活動

造形表現	言葉掛けプランニングシート	音楽表現
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが夏祭りの様子をイメージできるよう、ペープサートを用いながら話をする。 ・夜店の種類について、絵パーツを準備し、子どもの言葉を受けてペープサートに貼っていく。 ・ペープを全面開き、様々な夜店があることに気付けるよう提示する。 	<p>◎先生の所に集まり、お話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4組のお友達おはようございます。 ・今日みんなと遊ぶ〇〇先生と〇〇先生です。宜しくお願いいたします。 ・みんな、最近暑くなってきたよね。これからどんどん暑くなって夏が近づくけど、みんな夏に楽しみなことある？ ・そうだね、みんな楽しみがいっぱいあるね。 ・先生は夏祭りが楽しみなんだけど、みんなは夏祭りに行ったことある？ ・夏祭りって、こんなにたくさんお店があるんだね（本を見せる） ・この本に載ってるお店以外にどんなお店があるかな ・そうだね！金魚すくいがあるね。 ・みんな金魚ってどんなのか知ってる？（ページを変える） ・そうだね、金魚ってこんなのだよな。 <p>・「こんなのだよな。」の時に見本で製作していた金魚を動かし、より動きのイメージを深める。</p> <p>・じゃあ、これからこの金魚を折り紙で折りましょう。</p> <p>・先生が折り紙を配るので、持っていないお友達は教えてね。</p>	
	<p>◎折り紙で金魚を折る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな折れましたか？先生に見せてね。 ・おおーすごいね！上手に折れてるね。 ・自分のがなくなったらみんな困っちゃうからお名前を書いてね。 ・みんな金魚できた？先生に見せて！ ・わあ、可愛い金魚やかっこいい金魚がいるね。 ・金魚はどんな風に泳ぐのかな？ ・わあ、金魚さん気持ちよさそうに泳いでるね。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に、ペットボトルや発泡トレ等を用いた水槽の製作を行う。 ・制作後は、容器を傾けるなどして遊び、水中で魚がどのような動きをするのか視覚的にイメージできるよう活動を行う。 	<p>◎金魚すくいをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃあ、次はみんなが金魚になって泳いでみようか。 ・作った金魚は小池が2つあるから、そこに泳がせておきましょう。 ・みんな変身する準備はできた？ ・じゃあ変身するよ。へーんしん！！ ・すいすい～。わあ、みんなキレイな金魚になれたね。 ・可愛い金魚もいるよ。上手だね。すいすい～ ・ゆっくり泳いでみよう。すーい、すーい。 ・次は早く泳ぐよ。せーの！すいすいすい ・みんなはやいなあ。 ・さあ次は金魚すくいをするよ。先生たちが捕まえるから金魚のみんなは逃げてね。よーい、スタート！ ・スーっと間を抜けてみてね。すいすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・譜例4、5、6で示したように、金魚が泳ぐスピードに合わせたピアノを即興的に弾く。子どもがゆっくり泳ぐ、早く泳ぐ、を表現できるようにになった。言葉の指示ではなく音の違いを聞き分けて動く活動を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現の前に、花火になりきるための小道具を制作する。 ・帯状のホログラムシートを数色選んで輪ゴムで留め、指に着ける。 ・身体の動きに合わせて揺れるシートの美しさを感じられるようにする。 	<p>◎花火を打ち上げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（花火の効果音）あれ？何の音だろう？ ・花火をみんな見たことがある？ ・どんな花火があるか教えて！ ・どんな音がするんだろう。 ・ヒュールルル、ボーン、パーン、ドーン、ドカーン ・パチパチって音がする花火があるんだけど、みんな分かる？ ・線香花火ってしたことある？ ・線香花火になってみよう。3、2、1で火が付くよ！ ・3、2、1・・・パチパチ、シュッシュッ、パッ ・キレイだね。ポトッ。あれ？落ちちゃった。悲しいね。 ・次は大きな花火になろう！ ・ぐるぐる～どか～ん！みんなキレイな花火ができたね。 ・〇〇先生にも見せてあげようか。 ・〇〇先生のところに走って行くよ～よーいどん！ ・キレイな花火を見せてあげてね。 ・3、2、1どか～ん！キレイだね。 ・最後は、みんなで1つの大きな輪になって花火を打ち上げよう。 ・お友達と手を繋いでしゃがみましょう。準備はできた？ ・3、2、1どか～ん！きらきらきら ・とってもキレイな花火ができました（拍手） 	<ul style="list-style-type: none"> ・花火の音を手や足、口を使って表現する。足踏みによって大きな音を出したり、手で身体の内側を叩くことでパチパチという音を出したり、口で音程を調整し、「ヒュールルル」という音を出したりする。
	<p>◎活動を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなどうだった？楽しかったね。キレイだったね！ ・夏が近づくと、いろんな所で夏祭りがあるから、行ったお友達は先生に教えてね！ ・今から給食の時間なので、準備をして待っていてね。 	